

京都府立洛北高等学校英語科 CAN-DO リスト

Level	CEFR	サイエンス	文理	スポーツ	Listening	Reading	Speaking		Writing
							Interaction	Production	
7	C1				広く社会的・学術的な話題について、自然な速さの標準的な英語で話されて、複雑な内容の長い会話やスピーチ、講義、及び同様のテレビ、ラジオのニュースやテレビ、映画のドラマをほぼ理解できる。	広く社会的・学術的な話題について、抽象的な概念や専門的な内容を含む複雑で長い英文をほぼ理解でき、要点を押さえて的確に要約することができる。また辞書なしで一般向けのペーパーバック小説や一般向け英字新聞をほぼ理解できる。	自然な速さの標準的な英語であれば、広く社会生活上の会話を、ネイティブスピーカーに準ずる流暢さで行うことができる。幅広い分野について、自分の見解を説明しながら、複雑な議論に積極的に加わることができる。自分が行ったスピーチの内容に関する質問に詳細に答えることができる。	事前の準備があれば、社会問題や科学実験について、詳細な理由や事例、データを含めた説得力のあるスピーチやプレゼンテーションを行うことができる。	複雑な社会的・学術的な主題についての報告書や小論文を、アカデミックライティングのパラグラフ構成を基本としながらも、読者や目的に合わせて柔軟かつ効果的に再構成し、詳細な理由や事例、データを含めて体系的に書くことができる。
6	B2	高校3年			話題がある程度知っているもので、自然な速さの標準的な英語で話されていれば、まとまった長さの会話やスピーチ、講義、及び同様のテレビ、ラジオのニュースやテレビ、映画のドラマをほぼ理解できる。	話題がある程度知っているものであれば、抽象的な概念や専門的な内容を含む英文をほぼ理解でき、要点を押さえて的確に要約することができる。また辞書なしでグレーデッドリーダーの上級レベルの小説を、辞書を使えば一般向け英字新聞をほぼ理解できる。	自然な速さの標準的な英語であれば、学校や日常生活、旅行先での会話を、ネイティブスピーカーに準ずる流暢さで行うことができる。よく知っている内容であれば、自分の見解を説明しながら、議論に積極的に加わることができる。自分が行ったスピーチの内容に関する質問に十分に答えることができる。	事前の準備があれば、社会問題や科学実験について、十分な理由や事例、データを含めた説得力のあるスピーチやプレゼンテーションを行うことができる。	自分がよく知っている分野や関心のある分野であれば、時系列説明、因果関係、分類、比較対照などの内容を含んだ報告書や小論文を、アカデミックライティングのパラグラフ構成のテンプレートに沿って、十分な理由や事例、データを含めて体系的に書くことができる。
					話題がある程度知っているもので、比較的ゆっくりで標準的な英語で話されていれば、まとまった長さの会話やスピーチ、講義、及び同様のテレビ、ラジオのニュースやテレビ、映画のドラマをほぼ理解できる。	話題がある程度知っているもので、専門用語の語注があれば、抽象的な概念や専門的な内容を含む英文をほぼ理解でき、簡単な要約を行うことができる。また辞書なしでグレーデッドリーダーの中級レベルの小説や学生向け英字新聞をほぼ理解できる。	比較的ゆっくりで標準的な英語であれば、学校や日常生活、旅行先での会話を、ネイティブスピーカーの理解に支障がない程度の流暢さで行うことができる。自分が行ったスピーチの内容に関する質問に簡潔に答えることができる。	事前の準備があれば、社会問題や科学実験について、必要な理由や事例、データを含めた簡潔なスピーチやプレゼンテーションを行うことができる。	自分がよく知っている分野や関心のある分野であれば、時系列説明、因果関係、分類、比較対照などの内容を含んだ報告書や小論文を、アカデミックライティングのパラグラフ構成のテンプレートに沿って、必要な理由や事例、データを含めて簡潔に書くことができる。
5	B1.2	高校2年	高校3年		話題がある程度知っているもので、比較的ゆっくりで標準的な英語で話されていれば、学校や日常生活での会話や比較的短いスピーチ、講義、及び同様のテレビ、ラジオのニュースやテレビ、映画のドラマをほぼ理解できる。	話題がよく知っているものであれば、具体的な事実や一般的な内容の英文をほぼ理解でき、簡単な要約を行うことができる。また辞書なしでグレーデッドリーダーの初級レベルの小説を、辞書を使えば学生向け英字新聞をほぼ理解できる。	比較的ゆっくりで標準的な英語であれば、学校や日常生活、旅行先での会話を、聞き手の助けを借りながら、ネイティブスピーカーの理解に支障がない程度の流暢さで行うことができる。自分が行ったスピーチの内容に関する質問に必要な最小限の返答を行うことができる。	事前の準備があれば、個人的な経験や計画、意見、感想について、比較的短い理由や事例を含めた簡潔なスピーチやプレゼンテーションを行うことができる。	自分がよく知っている話題や関心のある話題であれば、自分の意見や感想を表すパラグラフを、比較的短い理由や事例を含めて簡潔に書くことができる。
4	B1.1	高校1年	高校2年	高校3年	外国の行事や習慣に関する説明や、自分の周りで話されている少し長めの会話や学習したテーマである議論でも、ゆっくりはつきり話されれば理解することができる。また、メモを取りながら要点を聞き取ることができる。	学習を目的として書かれたテキストの現代的な問題の文章（環境問題・科学・教育・福祉・文化についてなど）や新聞記事などの要点を理解することができる。	平易な英語を用いて、日常生活など身近な話題や自分に関連した興味関心のある事柄に関して相手と意見交換をしながら社交的な会話を続けることができる。	事前の準備があれば、身近なトピック（学校・趣味・将来の希望など）や個人的な関心のある具体的なトピックについて使える語句や表現を繋いで順序立てたり、話を広げながら、ある程度詳しく語るすることができる。	自分に関わりのある環境での出来事を、身近な状況で使われる語彙・文法を用いて、ある程度まとまりのあるかたちで描写することができる。また、自分の考えや意見を筋道をたてて述べるることができる。
2	A2.1	中学2年	高校1年		ゆっくりはつきりと放送されれば、公共の乗り物の短いアナウンスを理解することができ、スポーツや料理の一連の行動の指示も理解することができる。また、学校の宿題や旅行の日程などの明確で具体的な事実の内容や要点を理解して行動することができる。	簡単な語を用いて書かれた人物描写、場所の説明、日常生活や文化の紹介、生活や趣味、スポーツなどの日常的なトピックを扱った文章の要点を理解したり、必要な情報を取りだしたりすることができる。また、短い物語や伝記、説明文を理解することができる。	簡単な英語で、意見や気持ちをやりとりしたり、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を比べたりすることができる。	前もって発話することを意図した上で、日常生活に関する簡単な事実を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、複数の文で描写できる。	文と文をand, but, becauseなどの簡単な接続詞でつなげるような書き方であれば、基礎的・具体的な語彙や句、文を用いた日記や自分の趣味や好き嫌いについて、また物事の説明文などを複数の文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。
			中学1年		ゆっくりはつきりと話されれば、自分自身や身の回りの人々や事柄について、また日常生活の身近なトピックについての話や情報を聞き取り理解することができる。	簡単な語を用いて書かれた、スポーツ・音楽・旅行など個人的な興味のあるトピックに関する文章を、イラストや写真も参考にしながら短い物語を理解することができる。	基本的な語や言い回しを使って日常のやりとり（何ができてできないか、趣味、部活動、スポーツ、食べ物などの好き嫌いなど）についての簡単な質疑応答を行うことができる。	前もって発話することを意図した上で、限られた身近なトピックについての自分の思いや意見を簡単な表現で伝えることができる。	簡単な語や基本的な表現を用いて、身近なこと（好き嫌い、家族、学校生活、趣味など）や自分の経験について短い複数の文章を書くことができる。
1	A1	中学1年							